世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：道後温泉地区の魅力向上と賑わいづくりについて』

平成27年9月2日（水）14：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と対応時期 | 対応策または不可能な理由等 | 担当課 |
| 1 | 　個人または法人が道後のまちの事業のため積立金を出資することが、経費として認められると賛同者が増えると思う。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 国や地方公共団体等への寄附金については、損金として認められる場合がありますが、個人と法人で取り扱いが違うほか、様々な要件があり、担当は松山税務署になります。なお、法令で定められた寄附金については、市役所で対応できる場合もありますので、市民税課にご相談ください。 | 市民税課本田　圭089-948-6289 |
| 2 | 　椿の湯が新築されるという期待と道後温泉改修時の商いへの不安があるので、松山市から説明して欲しい。　　　　　　　　　　　　　　　　 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 新しい椿の湯の整備のほか、「道後温泉活性化計画」及び「魅力向上・賑わい創りの総合的な対策」の取り組みについて、平成27年度から、魅力的な歩行空間の形成や交通アクセス環境の整備など、各種施策や事業を実施していきたいと考えています。また、道後温泉本館保存修復工事中の観光客への影響を最小限に抑えるため、修復工事を観光資源とする取り組みとして「修復工事を見せる」工法や見学イベントの開催等を検討しています。 | 道後温泉事務所岡　健二089-921-6161 |
| 3 | 　道後を盆踊りの聖地としてＰＲしていくため、地元で開催しているイベント「真暫寝哉（ましましいねたるかも）」に、松山市も協力いただきたい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 一遍上人のゆかりの地である松山が、盆踊りで盛り上がり賑わえば、観光誘客にも大きな効果があると思いますので、できる限りの支援を検討したいと考えています。 | 観光・国際交流課浦田　百合香089-948-6556 |
| 4 | 道後温泉改修時に入浴できなくなるというお客様への不安解消のため、道後温泉の工事の全容等について、ＰＲや周知を市にお願いしたい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 重要文化財（建造物）の耐震診断基準が変更されたことによる対応のほか、施工計画の見直しによる工期の短縮や経済的影響の軽減などの検討を行っています。平成27度中に道後温泉本館保存修復計画を策定する予定で、工事のＰＲや周知方法についても合わせて検討しています。 | 道後温泉事務所山下　勝義089-921-5151 |
| ５ | 道後温泉本館の工事を逆にチャンスとして捉え、ライブカメラやネットワークを使って情報を発信すると、お客さんが楽しんで来てもらえる。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 道後温泉本館保存修復工事をチャンスと捉え、修復工事を観光資源とする取り組みとして「修復工事を見せる」工法や、見学イベントの開催等を検討するとともに、効果的な情報発信に取り組みたいと考えています。 | 道後温泉事務所山下　勝義089-921-5151 |
| ６ | 道後温泉周辺の電線の地中化のエリアを広げてほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 全国的に電線類の地中化は、安全かつ円滑な交通の確保、都市防災、景観保全、電力の安定供給等を目的に、地上に分電盤等の機器が設置可能で、歩道のある幹線道路で事業を展開しています。道後温泉周辺地区の電線類の地中化は、主な幹線道路の整備が完了し、今後は歩道を新設する椿の湯の南面道路や上人坂で取り組んでいきますが、道幅が4～5メートル程度の歩道のない生活道については、機器類の設置が困難なため、現段階で事業の実施は難しい状況です。 | 道路建設課田井　理仁089-948-6476 |
| ７ | 椿の湯から本館が見えるように、アーケードの改修をして景観性を高めてほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | アーケードは地元商店街の貴重な財産ですので、地元商店街の中で方向性を十分にご検討いただきたいと思います。今後も、民間建物の壁面景観整備、いわゆるファサード整備も含め、公共と民間の空間を一体的に捉えた景観形成について、地元の皆さんと検討していきたいと考えています。 | 都市デザイン課高橋　史朗089-948-6848 |
| ８ | にきたつの路の石畳が、常時割れている状態で、路面もでこぼこしているので改善をしてほしい。 | ■可　能□対応済■今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | ご指摘いただいた「にきたつの路」の石畳は、傷んだところをその都度、応急的にアスファルトで補修していました。タウンミーティング後の9月9日に全体の点検を行い、傷みがある7箇所を石畳に修繕する工事を発注しました。 | 道路管理課松田　孝弘089-948-6478 |
| ９ | 椿の湯（現存）の改修時に２階の和室を洋室にしてほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 今回いただいたご意見を受けて、椿の湯の改修計画を策定する中で、地元の皆さんの意見を反映できるよう検討します。 | 道後温泉事務所山下　勝義089-921-5151 |
| １０ | 道後商店街振興組合で、アーケードの改修やカラー舗装を検討しているが、松山市の支援策があれば教えてほしい。また、近隣の事例や効果があればお教えいただきたい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 環境整備を目的とした、施設設置・改修・撤去については、「松山市商店街共同施設設置等補助金」（補助率1/3）という支援制度がありますので、事前に地域経済課までご相談ください。近隣の事例や効果については、平成21年度に銀天街がカラー舗装の全面改修を行い、来街者の安全安心を確保し快適な環境を整えたことで、銀天街のイメージアップが図られ、多くの来街者の方から歩きやすくなったという声をいただいたと聞いています。 | 地域経済課玉井　宏幸089-948-6548 |
| １１ | 道後商店街振興組合が実施している「道後村めぐり（スタンプラリー）」に、松山市も応援してほしい。 | ■可　能□対応済■今年度中■次年度以降□検討中□不可能□その他 | 「道後村めぐり」は、道後地区を訪れる観光客の回遊性を高めるために、松山市としても観光客にパンフレットをご利用いただけるようＰＲしていきたいと思います。また、修学旅行生誘致では、現在作成中の修学旅行生用の冊子に、道後での散策を楽しむ体験として「道後村めぐり」を掲載します。商店街の活性化を目的とした事業については、「松山市商店街活性化支援事業補助金」（補助率1/2、補助上限200万円）や、「松山市商店街活力ＵＰ事業費補助金」（補助率6/10以内、補助上限120万円）といった支援制度がありますので、事前に地域経済課までご相談ください。 | 観光・国際交流課藤澤　祐司089-948-6558地域経済課玉井　宏幸089-948-6548 |
| １２ | 修学旅行生に浴衣を着せて道後のまちを歩いてもらいたい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 修学旅行生が、浴衣を着用して道後商店街を散策することについては、各学校の判断となっていますが、浴衣で散策した学生からは、温泉情緒を感じて楽しかったとの意見も多く聞かれることから、引き続き、学校や旅行会社に提案していきたいと考えています。 | 観光・国際交流課藤澤　祐司089-948-6558 |
| １３ | 新しい椿の湯の広場に緑（シンボルツリー的なもの）がほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 聖徳太子が来浴された際に読んだ碑文の「椿が互いに交えて生い茂り、あたかも寿国のようであった」という様子を表現したいと考え、新しい椿の湯の中庭に市花「椿」を森をイメージして配置するよう検討しています。 | 道後温泉事務所山下　勝義089-921-5151 |
| １４ | 椿の湯と上人坂に足湯をつくってほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 椿の湯の中庭にある源泉近くに足湯を設けることで、イメージを醸し出したいと考えています。上人坂の足湯については、道後温泉活性化計画で道後温泉地区の回遊性の向上と滞留できる空間づくりの実現のなかで、検討したいと考えています。 | 道後温泉事務所山下　勝義089-921-5151 |
| １５ | 「椿の湯」の前の道を、「にきたつの路」のような舗装にしてほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 道後温泉活性化計画の中で、椿の湯周辺エリアを重点整備エリアと位置付け、周辺道路の景観整備や電線類地中化整備などを順次、予算化しながら実施していきたいと考えています。 | 道後温泉事務所岡　健二089-921-6161 |
| １６ | 道後温泉本館が混雑することについて対策を聞きたい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 道後温泉本館では、大型連休などの繁忙時期に入館待ちの行列ができていましたが、お客様に待ち時間を有効に活用していただけるよう、平成27年7月から民間のシステムの順番管理サービスを試験運用しています。このシステムは、整理券を発券し空席が出ると携帯電話にメールや電話での呼び出しを行うもので、入館までの時間を行列のストレスを感じることなく、商店街でショッピングをするなど道後温泉のまちを楽しんでいただくことができます。今回の試験運用の結果を受けて今後、システムの導入について検討したいと考えています。 | 道後温泉事務所水田　隆敏089-921-5141 |
| １７ | アーケード内の看板に、収入源になるような広告を貼ることを許可してほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 広告物を出す場合は、屋外広告物法や道路法が適用されますが、地元商店街と松山市が屋外広告物の活用と市道の維持管理についての協定を結ぶことについては、都市デザイン課を窓口として協議させていただければと思います。 | 都市デザイン課高橋　史朗089-948-6848道路管理課西村　敏幸089-948-6473 |
| １８ | コンベンションの誘致をお願いしたい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | 松山市へのコンベンション誘致は、（公財）松山観光コンベンション協会を中心に取り組んでいます。各種学会等コンベンション主催者に対し、本市で各種コンベンションを開催する際の助成金や、各種運営等の支援メニューについて、首都圏を中心に積極的に営業活動を行っています。 | 観光・国際交流課福山　雄基089-948-6556 |
| １９ | 観光バスの停留所を整備すれば、日帰りの観光客をさらに取り込めると思う。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 観光客や関係者の声をお聞きしながら、駐車場のほか観光バスの停留所の整備についても検討していきたいと考えています。 | 観光・国際交流課大西　孝史089-948-6556 |
| ２０ | コンベンションで来たお客様が、道後の商店街で買い物をするようなシステムをつくってほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | （公財）松山観光コンベンション協会ではコンベンションを開催する主催者から、大会参加者向けのお土産等の販売依頼があった場合、協会の地元賛助会員を紹介し、会場で物品販売を行っています。また、愛媛県観光物産協会など、他団体や企業などがコンベンション主催者に対し営業を行い、会場で販売する場合もあります。（公財）松山観光コンベンション協会は、公益財団法人として公平中立の立場から、コンベンション参加者に松山市の観光パンフレットなどを配布し、道後をはじめ市内各所を観光していただけるように努めています。 | 観光・国際交流課福山　雄基089-948-6556 |